

2007/9期 決算説明会資料

平成19年11月16日

 富士製薬工業株式会社

FujiPharma

目次

- (1) 基本情報
- (2) 2007年(H19年)9月期決算概要
- (3) 2008年(H20年)9月期見通し
- (4) 中期経営計画について

(1) 基本情報

I. 会社概要(平成19年9月30日現在)

- 本店所在地 東京都千代田区紀尾井町3番19号
- 設立年月日 昭和40年4月1日
- 事業内容 医療用医薬品の製造及び販売
- 資本金 16億1,695万円
- 株主数 1,514名
- 支店 札幌、仙台、東京、富山、名古屋、大阪、福岡
- 工場 富山市水橋辻ヶ堂1515番地
- 従業員 405名
- 役員
代表取締役社長 今井博文
取締役 山崎由実子、下堀穂積、上出豊幸、
岩井孝之、小沢伊弘、内田正行
監査役 中村 稔(常勤)、三村藤明、佐藤 明



II. 経営理念・ミッション・行動指針

＝経営理念＝ 富士製薬工業の土台となる基本的な指針、存在意義を示すもの

■ 医薬品を通じて社会に貢献する

人に尽くすことがわたしたちの使命、目的、幸せです。

■ 企業の成長はそこに働く人々の成長に正比例する

企業活動を通じて人材を育成することを大切にしています。

＝ミッション＝ 理念に基づくわたしたちの約束、大切にしている考え・想い、目指す姿を示すもの

○人々の痛みや障害の改善、克服に役立つ医薬品の開発、製造、販売を通して社会に貢献します。

○自社の強み、勝てる戦いに集中し、独自の企業力の充実、発展、継続に努めます。

○お客様の立場を貫き、お客様と共に新たな価値を創る、お客様と相乗的に発展します。

○フェアでオープンな風土、学習と人間的成長、成長と発展の機会、社員満足を尊重します。

＝行動指針＝ わたしたちが心がけること、優先すること、実践することを示すもの

◇お客様の要望を十分に理解するだけでなく、お客様にとってのお客様・患者様の要望も視野に入れて、お客様と共に新しい価値を考えます。

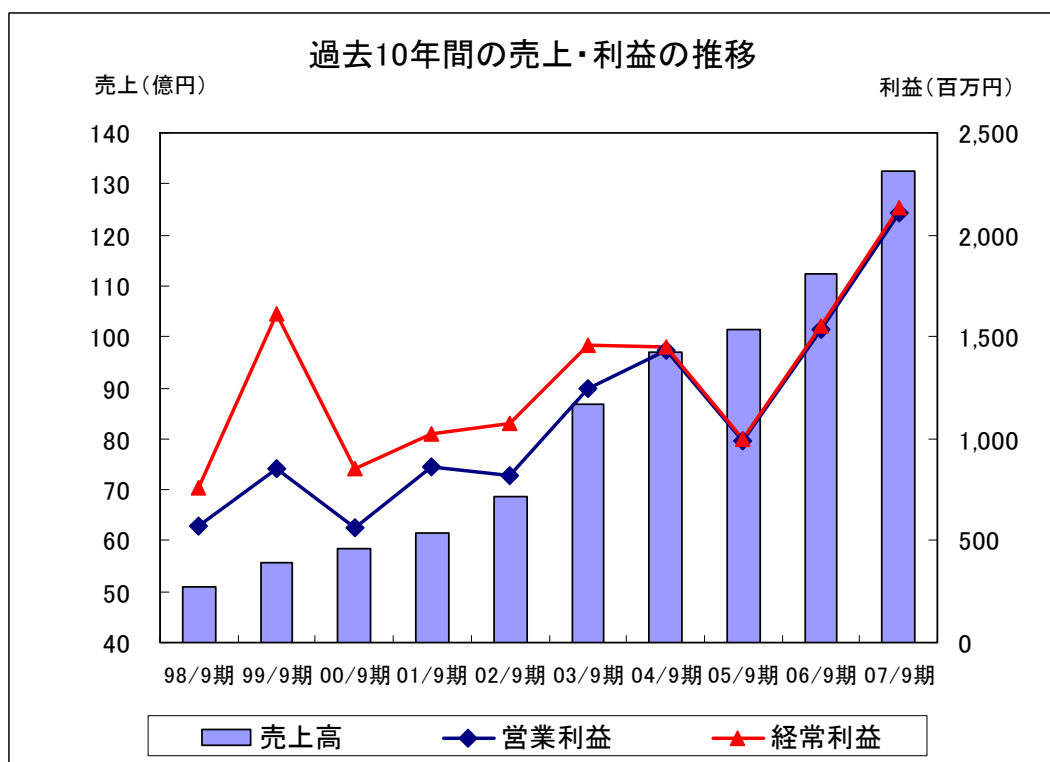
◇会社の仕組みの簡素化・効率化を推進、会社活動を行う目標、方法、手順を共有し、やるべきことだけに集中します。

◇ネットワーク形成を通じた外部資源の内部資源化、自己資源・パワーの最適な集中投入により、自己の強みの充実に努めます。

◇会社活動、自主的な取り組みを通して、無くてはならない優位性、見事な独自性、高い専門性の充実、人間的成長をはかります。

◇人の生命に関与する誇り、人に尽くす・人に尽くせる喜び・幸せ、人へのありがたい・感謝の気持ちを大切にします。

Ⅲ. 過去10年間の業績推移



Ⅳ. 薬価改定推移と過去業績

期	薬価引き下げ率		当社の業績(単位:百万円)					
	業界平均	当社	売上高	前年比増減	経常利益	匿名組合投資利益	修正経常利益(*1)	前年比増減
98/9期	▲9.7%	▲11.3%	5,085	▲7.1%	759	215	545	▲32.1%
99/9期	—	—	5,578	9.7%	1,610	664	946	73.7%
00/9期	▲7.0%	▲11.0%	5,855	5.0%	852	150	702	▲25.8%
01/9期	—	—	6,152	5.1%	1,022	159	863	23.0%
02/9期	▲6.3%	▲15.0%	6,853	11.4%	1,077	245	832	▲3.6%
03/9期	—	—	8,676	26.6%	1,455	212	1,243	49.4%
04/9期	▲4.2%	▲7.2%	9,694	11.7%	1,447	—	—	16.4%
05/9期	—	—	10,128	4.5%	996	—	—	▲31.2%
06/9期	▲6.7%	▲7.0%	11,240	11.0%	1,556	—	—	56.2%
07/9期	—	—	13,250	17.9%	2,129	—	—	36.8%

(*1) 修正経常利益は、匿名組合投資損益を除いたもの

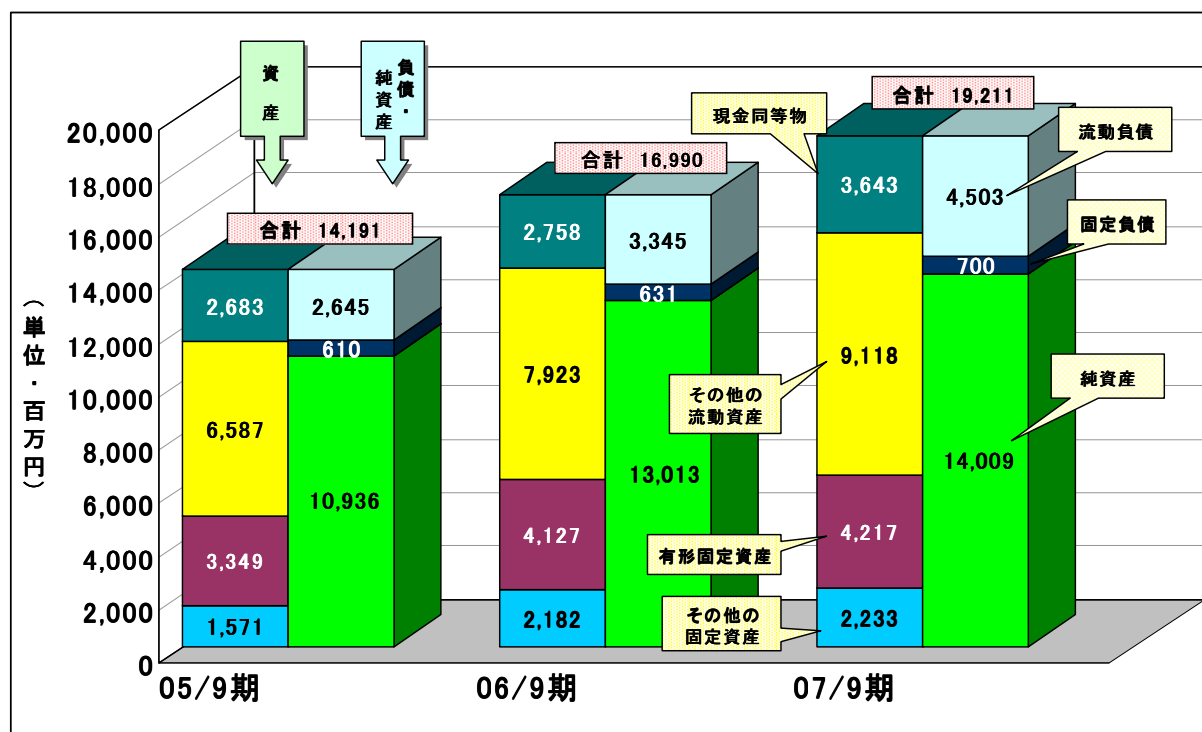


(2) 2007年(H19年)9月期決算概要

- I. 貸借対照表構成図
- II. 損益計算書
- III. 薬効分類別売上高
- IV. 四半期ごとの売上実績
- V. 主要製品売上高
- VI. キャッシュ・フロー計算書(抜粋)
- VII. 設備投資額、減価償却費、研究開発費
- VIII. 利益率、その他の経営指標
- IX. 1株当り指標と配当性向



I. 貸借対照表構成図



Ⅱ. 損益計算書

(単位:百万円)

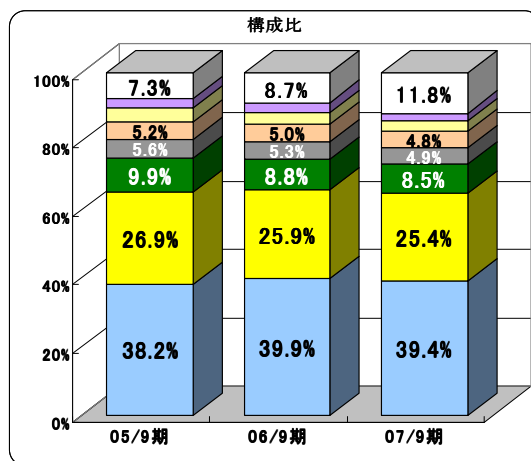
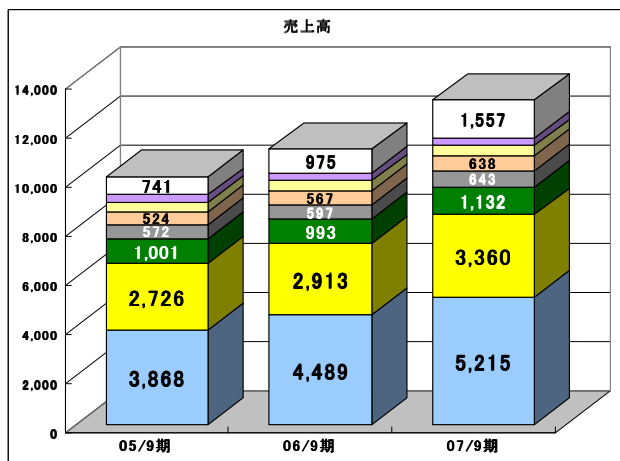
科目	05/9期	構成比	06/9期	構成比	07/9期	構成比	前期比増減	
売上高	10,128	100.0%	11,240	100.0%	13,250	100.0%	2,009	17.9%
売上原価	5,602	55.3%	6,414	57.1%	7,296	55.1%	882	13.8%
売上総利益	4,525	44.7%	4,826	42.9%	5,953	44.9%	1,127	23.4%
販売費及び一般管理費	3,537	34.9%	3,293	29.3%	3,850	29.0%	556	16.9%
営業利益	987	9.8%	1,532	13.6%	2,103	15.9%	570	37.2%
営業外収益	20	0.2%	35	0.3%	36	0.3%	1	3.4%
営業外費用	12	0.2%	11	0.1%	10	0.1%	▲1	▲9.6%
経常利益	996	9.8%	1,556	13.8%	2,129	16.1%	573	36.8%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	94	0.9%	101	0.9%	140	1.1%	38	38.4%
税引前当期純利益	902	8.9%	1,454	12.9%	1,988	15.0%	534	36.7%
税金等	324	3.2%	538	4.8%	795	6.0%	256	47.6%
当期純利益	577	5.7%	915	8.1%	1,193	9.0%	277	30.3%



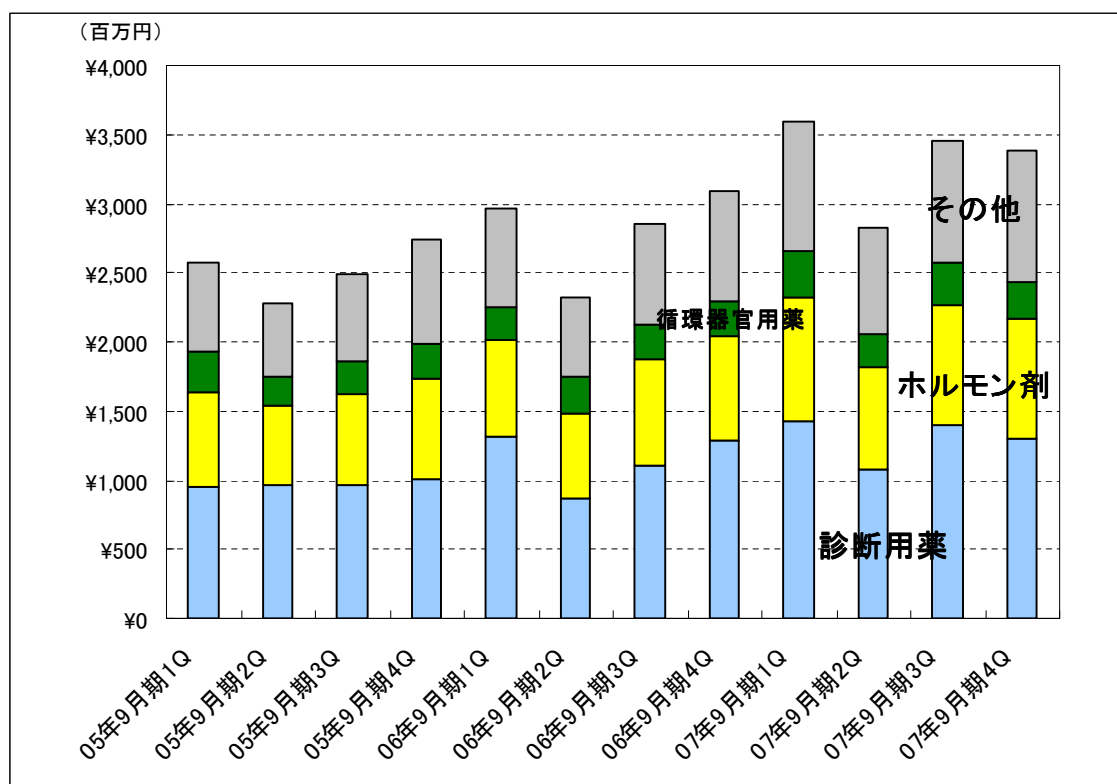
Ⅲ. 薬効分類別売上高

(単位:百万円)

区分	05年9月期		06年9月期		07年9月期			
	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	増減(額)	増減(%)
診断用薬	3,868	38.2%	4,489	39.9%	5,215	39.4%	725	16.2%
ホルモン剤	2,726	26.9%	2,913	25.9%	3,360	25.4%	447	15.3%
循環器官用薬	1,001	9.9%	993	8.8%	1,132	8.5%	139	14.0%
体外診断医薬品	572	5.6%	597	5.3%	643	4.9%	45	7.7%
抗生物質及び化学療法剤	524	5.2%	567	5.0%	638	4.8%	71	12.5%
外用薬	387	3.8%	395	3.5%	398	3.0%	2	0.7%
泌尿・生殖器官系用薬	309	3.1%	308	2.7%	304	2.3%	▲3	▲1.2%
その他	741	7.3%	975	8.7%	1,557	11.8%	581	59.6%
合計	10,128	100%	11,240	100%	13,250	100%	2,009	17.9%



IV. 四半期ごとの売上実績



V. 主要製品売上高

(単位: 百万円)

順位	薬効分類	製品名	売上高				
			05/9期	06/9期	07/9期	増減	
						(金額)	(伸び率)
1	診断用薬	オイパロン	2,939	3,342	4,027	684	20.5%
2	循環器官用薬	アリプロスト	800	795	862	66	8.4%
3	ホルモン剤	HMG7ジセイヤク	469	562	861	298	53.1%
4	診断用薬	イパーク	585	790	819	28	3.6%
5	診断用薬	注射用グルカゴンFS	342	356	368	12	3.4%
6	ホルモン剤	フォルモンP注	250	241	338	97	40.4%
7	ホルモン剤	注射用ソル・メルコート	199	250	317	67	26.9%
6	ホルモン剤	ブセキユア	249	262	273	10	3.9%
9	その他	マスキレート静注用	128	185	266	80	43.5%
10	ホルモン剤	デキサート注射液	164	221	261	39	17.8%
上位10位までの合計(*1)			6,252	7,037	8,396	1,359	19.3%
全売上に占める比率			61.7%	62.6%	63.4%		

(*1) 05/9期及び06/9期は当該期の上位10位の合計金額



VI. キャッシュ・フロー計算書(抜粋)

(単位:百万円)

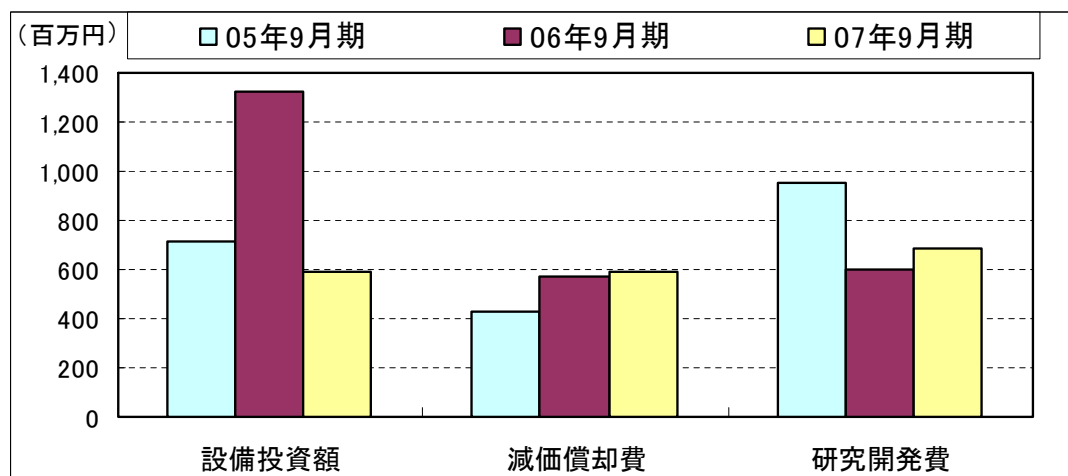
	05年9月期	06年9月期	07年9月期	前期比増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】税引前当期純利益	902	1,454	1,988	534
減価償却費	429	575	587	11
売上債権の増加額	▲150	▲892	▲519	373
棚卸資産の増加額	▲486	▲308	▲588	▲279
仕入債務の増加額	58	362	542	180
営業活動によるキャッシュ・フロー	338	767	1,659	891
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】有価証券の取得等による支出	—	▲499	▲99	399
有価証券の売却等による収入	—	—	600	600
有形固定資産の取得等による支出	▲1,053	▲1,333	▲476	856
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,336	▲2,364	▲94	2,270
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】自己株式の売却による収入	—	1,344	—	▲1,344
配当金の支払額	▲178	▲172	▲179	▲7
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲178	1,172	▲179	▲1,351
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額	▲1,176	▲425	1,385	1,810
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,860	2,683	2,258	▲425
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,683	2,258	3,643	1,385



VII. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	05/9期		06/9期		07/9期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
設備投資額	714	▲33.3%	1,326	85.8%	590	▲55.5%
減価償却費	429	26.0%	575	34.0%	587	2.0%
研究開発費	955	87.7%	601	▲37.0%	686	14.2%



Ⅷ. 利益率、その他の経営指標

決算期	05/9期	06/9期	07/9期
売上高経常利益率	9.8%	13.8%	16.1%
： 当期利益率	5.7%	8.1%	9.0%
総資産経常利益率	7.0%	10.0%	11.8%
： 当期利益率	4.1%	5.9%	6.6%
株主資本経常利益率	9.3%	13.0%	15.8%
： 当期利益率	5.4%	7.6%	8.8%

(注) 総資産、株主資本は、前、当期末平均値を使用

(単位： 回)

決算期	05/9期	06/9期	07/9期
総資本回転率	0.71	0.72	0.73
株主資本回転率	0.94	0.94	0.98
有形固定資産回転率	3.13	3.01	3.18
売上債権回転率	2.55	2.51	2.55
たな卸資産回転率	5.12	4.73	4.78

(注) 貸借対照表項目は前・当期末平均値を使用

決算期	05/9期	06/9期	07/9期
流動比率	350.6%	319.3%	283.4%
固定比率	45.0%	48.5%	46.0%



Ⅸ. 1株当たり指標と配当性向

1株当たり指標

(単位： 円)

決算期	05/9期	06/9期	07/9期
1株当たり当期純利益	47.33	73.78	92.74
1株当たり配当金	14.00	14.00	19.00
1株当たり純資産	920.32	1,011.12	1,088.48

(注) 1. 1株当たり当期純利益の株式数は、期中平均株式数による。

2. 1株当たり純資産の株式数は、期末株式数による。

3. 当期の期中平均株式数及び期末株式数は、自己株式数を控除した株式数。

配当性向

決算期	05/9期	06/9期	07/9期
配当性向	29.6%	19.0%	20.5%

(注) 配当性向は1株当たり配当金を1株当たり当期純利益で除して計算

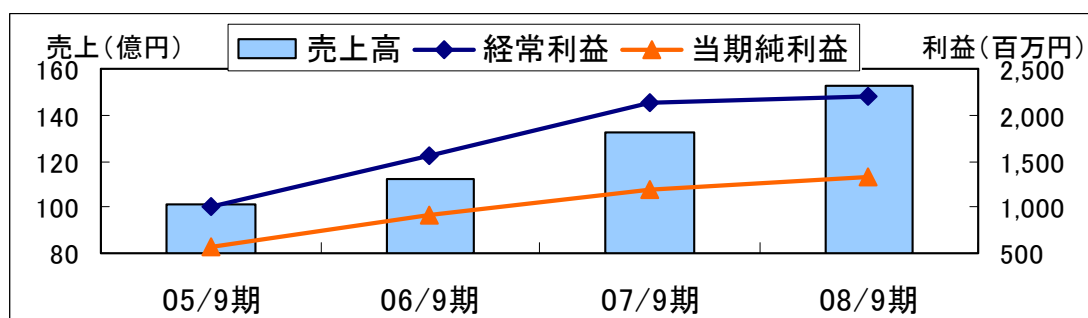


(3) 2008年(H20年)9月期見通し

(単位:百万円)

科目	08年9月期 中間期予想	08年9月期 期末予想	07年9月期 実績	前年同期比増減	
				金額	率
売上高	7,140	15,300	13,250	2,050	15.5%
営業利益	1,060	2,190	2,103	87	4.1%
経常利益	1,060	2,200	2,129	71	3.3%
当期純利益	630	1,320	1,193	127	10.6%
1株当たり配当金	10円	10円 (年間20円)	年間19円	—	5.3%
1株当たり当期純利益	48.95円	102.56円	92.74円		10.6%

研究開発費	548	1,037	686	351	51.2%
設備投資額	—	806	590	216	36.6%
減価償却費	334	817	587	230	39.2%



(4) 中期経営計画について

- I. 環境変化と経営課題
- II. 経営基本方針
- III. マスタープラン
- IV. 中期業績見通し



I. 環境変化と経営課題

新医薬品産業ビジョンの最終ゴール:

「医療ニーズに対応した安全で質の高い医薬品が国民にできるだけ早く合理的な価格で提供されること」

- 革新的新薬の適切な評価と、良質なGE薬使用の推進
⇒GE薬数量シェア30%以上へ
- 医薬品産業全体としての合理化と産業構造の転換
- 医薬品産業の機能分化、産業の発展に伴う更なる特殊化

経営課題:

「**独自**の医薬品事業でもっと大きく医療に貢献すること」

- 積極的、重点的、効率的な事業投資
- 競争優位な生存領域の確保、拡大
- 成長路線への転換、事業価値の引上げ



II. 経営基本方針

I. 既存コア事業の拡大

「生存領域で抜きん出る、2010年売上高200億円」

- **女性医療**向けGE薬＋長期収載品＋**新薬「ルナベル錠」**の相互補完モデルの構築 ⇒収益引上げ
- **急性期医療**向け注射剤GE薬市場の獲得 ⇒規模拡大

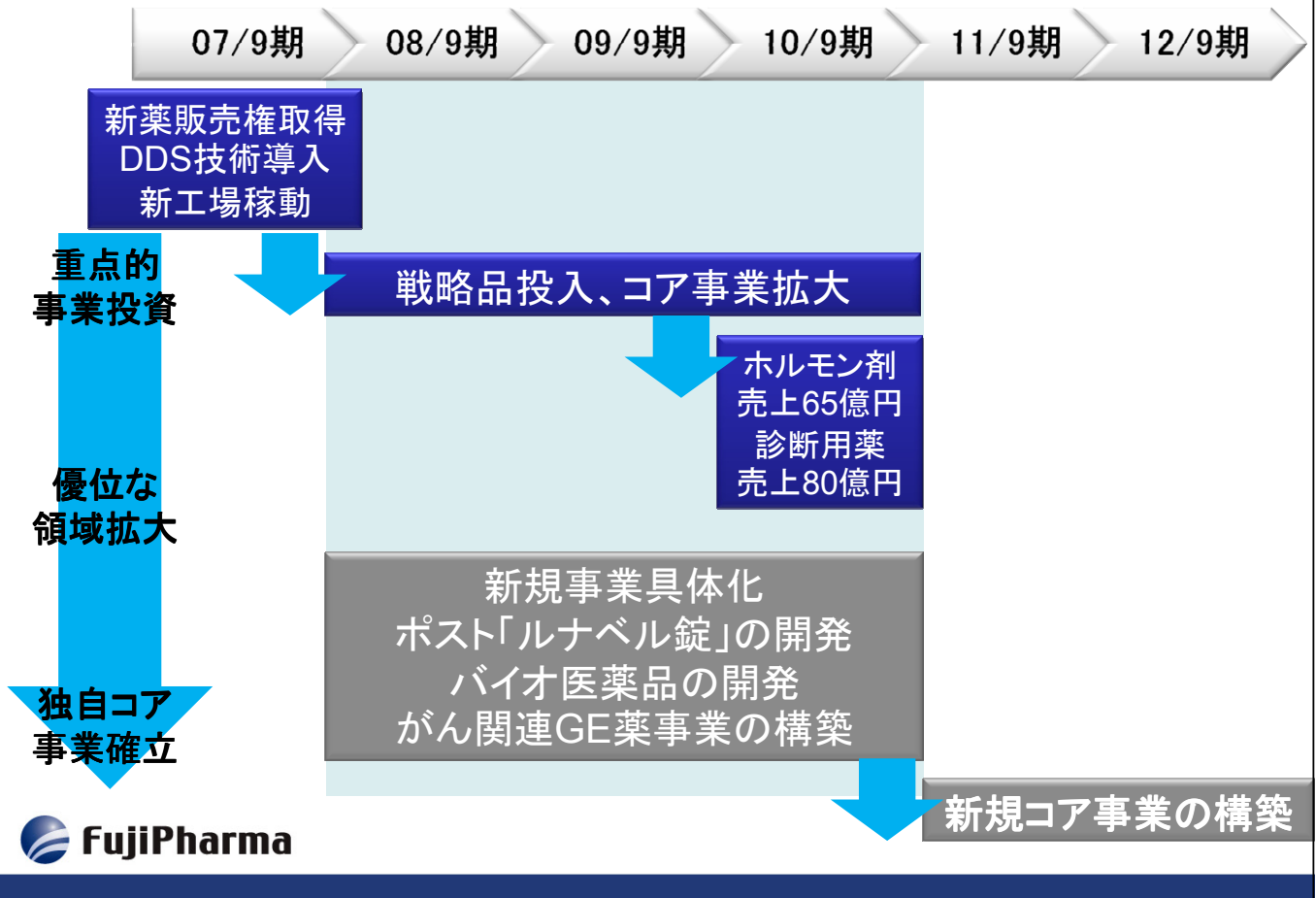
II. 新規事業機会の具体化

「新たな事業戦略に打って出る、2011年一計画策定」

- アライアンスの強化: ポスト「ルナベル錠」の開発、バイオ医薬品の導入、がん関連GE薬事業の構築
- M&A: 新たな事業領域の獲得、生産機能の拡充



Ⅲ. マスタープラン



Ⅳ. 中期業績見通し

	07/9期 実績	08/9期 計画	09/9期 計画	10/9期 計画	
売上高	13,250	15,300	18,200	20,000	百万円
経常利益	2,129	2,200	2,830	3,300	百万円
%	16.1%	14.3%	15.5%	16.5%	
ROA	11.8%	11.0%	13.3%	14.5%	
EPS	92.74	102.56	132	154	円

本日は、お忙しい中、ご来場頂き、誠にありがとうございました。



<お問い合わせ先>

管理部マネージャー 上出 豊幸

東京都千代田区紀尾井町3番19号

TEL : 03-3556-3344

FAX : 03-3556-4455

Email: toyoyuki_kamide@fujipharma.jp

URL : <http://www.fujipharma.jp>